

表 1495 2016年中の腹膜炎発症率(回/1患者・年) 治療方法(新分類)別 (腹膜透析患者)

治療方法 (新分類)	0	1.0 ~	2.0 ~	3.0 ~	4.0 ~	5.0 ~	合計	不明	記載なし	総計	平均	標準偏差
腹膜透析 (CAPD) (%)	2,542 (84.3)	341 (11.3)	90 (3.0)	16 (0.5)	10 (0.3)	15 (0.5)	3,014 (100.0)		1,959	4,973	0.26	0.88
腹膜透析 (APD) (%)	1,493 (87.4)	157 (9.2)	37 (2.2)	12 (0.7)	3 (0.2)	6 (0.4)	1,708 (100.0)		929	2,637	0.21	0.82
腹膜透析 (CCPD) (%)	559 (88.3)	59 (9.3)	10 (1.6)	1 (0.2)	2 (0.3)	2 (0.3)	633 (100.0)		372	1,005	0.17	0.63
合計 (%)	4,594 (85.8)	557 (10.4)	137 (2.6)	29 (0.5)	15 (0.3)	23 (0.4)	5,355 (100.0)		3,260	8,615	0.23	0.83
記載なし (%)												
総計 (%)	4,594 (85.8)	557 (10.4)	137 (2.6)	29 (0.5)	15 (0.3)	23 (0.4)	5,355 (100.0)		3,260	8,615	0.23	0.83

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。

*個々の患者の腹膜炎発症率(回/1患者・年)は、1.0未満の数値が0となるため、「0」と表示しています。

*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

##D5910##

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy

2016年調査